



H24.7.25,26 開催 「未来創生塾」のみんなと一緒に

『映画「からっぽ」草野監督が教える CM 講座はじめの一步』より

～桐生市で全編撮影した映画「からっぽ」の草野翔吾監督(28)が映画作りの初歩を教える「たのしいCMづくり はじめの一步」が25日、同市小曾根町の旧西中学校で始まった。小学2年生から6年生まで19人が動画の動く仕組みから編集までを勉強した

桐生地域情報ネットワーク(塩崎泰雄理事長)などが主催。総務省関東総合通信局が4年前に始めた「わがまちCMコンテスト」に応募し、桐生の良さを映像で全国に発信できる子供を育てようと、桐生出身の草野監督を担ぎ出した。

「動画って、どうして動いて見えるのか分かる？」

勉強は、監督の質問から始まった。実践編では子供たちが演技者になり少しずつ動いた写真を60枚ほど撮影。パソコンで連続して見ると「あ、私たちが動いてる！」と子供たちは夢中。ピントあわせ、明るさの調整、ズームなど撮影の手法を学び、演技の基礎、編集の仕方まで一気に進んだ。

後半の26日は実際に映画を撮る。塩崎理事長は「一人でも多くの子供が、自分で作ったCMをコンテストに応募して欲しい」と話していた。(大道裕宣)～